

お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者会、鳥取市政記者クラブ



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

平成31年 1月25日

とっとり^ととよ^とおか^とみやづ

とっとり

ふくべ

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の 道路の計画検討について、 みなさまのご意見をお聞かせ下さい

「鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）」の検討は、地域のみなさまのご意見を聞きながら進めています。

地域のみなさまや道路を利用される方々とともに、道路を計画する段階から情報を共有し、広くご意見をいただき、計画検討に反映していきます。

計画検討は、別添－1のとおり、段階を区切って進めています。

地域のみなさまへの意見聴取を実施します。

地域のみなさまや道路を利用される方々から、

◇ルート帯(案)を検討していく際に重視すべきと思う事項

◇インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべきと思う事項
についてのご意見をお伺いするため、アンケート調査やワークショップ等を実施します。

【アンケート調査】平成31年 2月 1日(金)～ 3月15日(金)

- 調査票は、鳥取市(旧鳥取市、旧福部村)にお住まいの方、鳥取東部地域等の事業所に郵送配布します。
※郵送配布の準備が出来次第、順次発送いたします。(2月中旬頃からを予定)
- また、道の駅や官公庁等にアンケート票を備えつけます。(設置箇所:別添－2)
- インターネットからも回答できます。
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html>
- アンケート調査表は、別添－3です。



【ヒアリング調査】

自治体や関係団体、物流・観光事業者の方などにインタビュー形式のヒアリングを実施します。

【ワークショップ】

地域にお住まいの方や事業者の方にお集まりいただき、ワークショップを開催いたします。
日時及び場所等の詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

【オープンハウス】

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）に関する検討内容を、写真やイラスト等を用い、分かりやすく展示・紹介するオープンハウスを開催いたします。

日時及び場所等の詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたします。

問合せ先：国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL：0857-22-8435（代表）

副所長（道路）

ひめむら こうぞう
姫村 幸造

【担当】計画課長

あさ い じゅん い ち
浅井 順一

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）ポータルサイト

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/road/tottorifukube/index.html>



検討の進め方

とっとり とよおか みやづ

とっとり ふくべ

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討は、
段階を踏んで進めていきます

鳥取豊岡宮津自動車道（鳥取～福部）の検討は、段階を区切り、道づくりの検討を進めていくことを考えています。
検討の各段階で、みなさまとの情報共有やご意見をおうかがいする場を設け、一緒に考え、検討していきます。

計画検討の流れ（案）

課題・ニーズの把握と
道路計画の必要性の確認

地域・道路交通の課題と道路に求める機能を把握し、道路計画の必要性を確認します。

<情報提供>

計画の目的、地域や道路交通の状況を提示します。

オープンハウス、ニュースレター、ポータルサイト

<意見把握>

課題や計画の必要性に関する意見、道路整備にあたってのアイデアや配慮に関する意見を把握します。

アンケート、ヒアリング、ワークショップ

現在はこの段階です

複数案の設定と評価項目の設定

複数のルート帯案を検討のたたき台として提示します。
市民等のみなさまの懸念やニーズを把握し計画検討に反映させます。

<情報提供>

複数のルート帯（案）と各案の評価ポイント（案）を提示します

オープンハウス、ニュースレター、ポータルサイト

<意見把握>

計画を検討する上でのニーズ・懸念など重視すべき事項を把握します。

アンケート、ヒアリング、ワークショップ

複数案の比較評価

市民等のみなさまのご意見を反映した比較評価（案）を提示します。
各案に対する期待や懸念をお聞きます。

<情報提供>

<意見把握>

みなさまのご意見を踏まえ、
「概略計画」をとりまとめます。

有識者委員会

提案
助言

市民・道路利用者のみなさま

オープンハウスでは

パネルを展示し、わかりやすく、検討内容をご紹介します。なお、会場にはスタッフがいるので、直接説明を聞いたり、質問していただくことができます。



ワークショップでは

あらかじめ募集した住民のみなさまや様々な業界の方々に、少人数のグループに分かれていただき、参加者のみなさま同士で議論をしながら、意見やアイデアをとりまとめていきます。



アンケート設置箇所

管理番号	県	市町村	施設名
1	鳥取	鳥取市	鳥取県庁
2			鳥取市役所
3			道の駅 神話の里白うさぎ
4			道の駅 清流茶屋かわはら
5			砂丘会館
6			鳥取砂丘こどもの国
7			鳥取砂丘砂の美術館
8			鳥取砂丘ビジターセンター
9			とっとり賀露かにっこ館
10			鳥取港海鮮市場かろいち
11			鳥取市国際観光物産センター まちパル鳥取
12			わらべ館
13			鳥取空港国際線ターミナル
14		岩美町	岩美町役場
15			道の駅 きなんせ岩美
16		八頭町	八頭町役場
17			道の駅 はっとう
18		若桜町	若桜町役場
19			道の駅 若桜
20		智頭町	智頭町役場
21	国土交通省鳥取河川国道事務所		

とっとり とよ おか み や づ とっとり ふく べ 鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)の 道路の計画検討に関するアンケート(第2回)

別添-3

鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県鳥取市を起点とし、京都府宮津市を終点とする延長約120kmの地域高規格道路であり、物流や人の交流機能の強化を主な目的として整備を進めています。

今回のアンケートは、鳥取～福部間のルート帯(案)を検討していく上での留意事項(重視すべき項目)について、ご意見を伺うものです。

前回に引き続き、本調査へご協力いただきますよう、お願いいたします。

第1回アンケートでは、平成30年5月～7月にかけて「道路の課題」、「道路に求める機能・役割」について、約10,100件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

計画検討区間位置図



周辺地域と道路の状況



▲写真③:GWの鳥取砂丘周辺の滞滞状況



凡例	
	主要渋滞箇所
	主要渋滞区間
	死傷事故率※1全国平均以上 (73.7件/億台キロ)の箇所
	上段:日交通量 下段:大型車混入率[昼間12時間] ※斜字は推計値

凡例	
	高速自動車国道
	一般国道
	主要地方道
	一般県道

凡例	
	拠点施設
	人口集中地区(DID地区)※2
	準工業地域・工業地域・ 工業専用地域
	住居系用途地域
	主要観光施設
	空港

資料／[死傷事故率]ITARDA事故データ(H23～H26)
[日交通量、大型車混入率]平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

※1 死傷事故率:走行台キロ(自動車の走行距離の総和)あたりの死傷事故発生件数を算出したもの
 ※2 人口集中地区(DID地区):国勢調査の基本単位区を基礎単位とし、市区町村の境域内で人口密度の高い地域

周辺地域と道路の状況

渋滞の状況

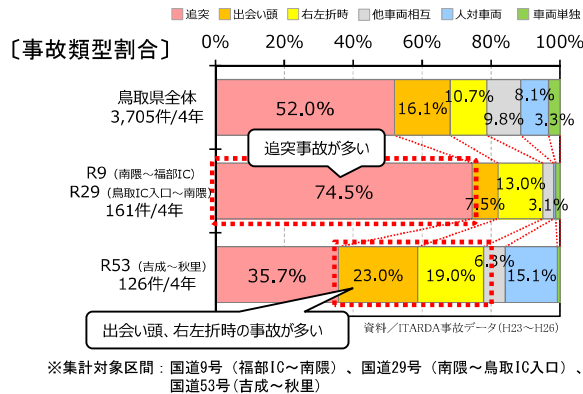
- 鳥取市街では、国道29号等を中心に主要渋滞箇所が連続して存在し、慢性的に渋滞が発生している。



▲写真：国道29号の渋滞状況（JR山陰本線線路部）

交通事故の状況

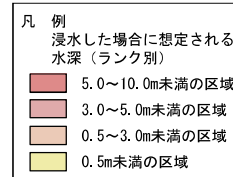
- 鳥取市街の幹線道路では、死傷事故率が全国平均以上の区間が多数存在。
- 国道9号・29号では、交通の混在や主要渋滞箇所の存在などを要因とした追突事故が多発。



災害時の懸念

- 一級河川千代川の想定最大規模の洪水時には、緊急輸送道路に指定される国道29号や国道53号が冠水し、救命・救助や物資輸送などの緊急活動に支障をきたすことが懸念される。

〔千代川の浸水想定区域と寸断される道路〕



緊急輸送道路のうち、0.5m以上の浸水が想定される区間

災害医療拠点、空港、港湾、物流拠点（物資の集配施設）

災害時のヘリポート

資料／鳥取県地域防災計画（平成27年度）

※災害予防（共通）の交通・輸送計画より

資料／千代川水系 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

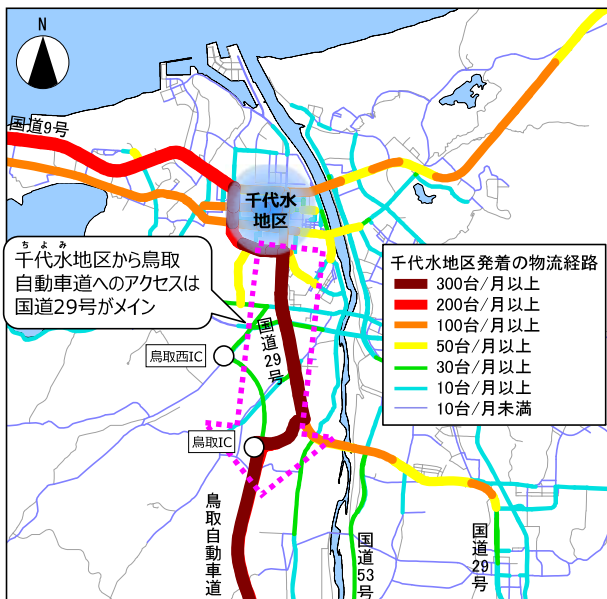
千代川流域の48時間総雨量 508mm

作成主体 鳥取河川国道事務所（平成28年6月9日公表）

産業への影響

- 千代水地区は鳥取市内から近畿以東・山陽方面への物流の約5割を占める重要な物流拠点。
- 国道29号の慢性的な渋滞により、高速ICへのアクセス性が低く、物流活動への支障となっている。

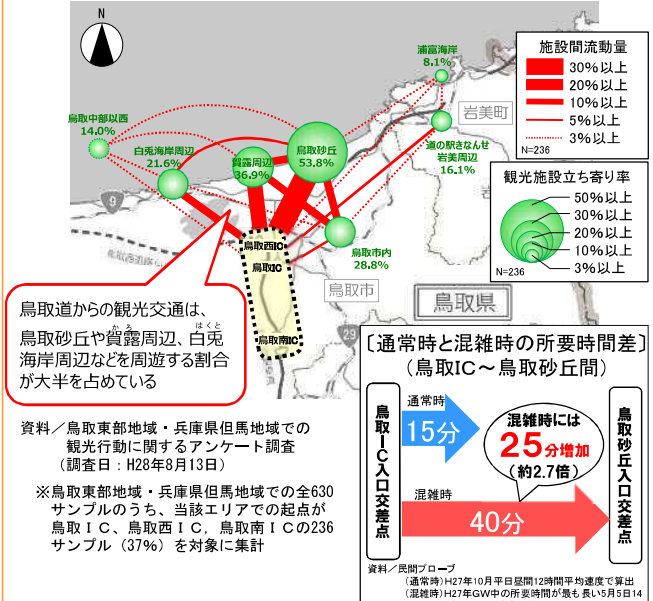
〔鳥取市千代水地区を発着する物流経路〕



観光への影響

- 鳥取東部地域では、鳥取砂丘周辺を周遊する観光客が大半を占め、岩美町への周遊は少ない。
- 観光シーズンには、鳥取IC～鳥取砂丘間の所要時間は通常時の約3倍に増加。

〔鳥取自動車道利用者の観光流動の状況〕

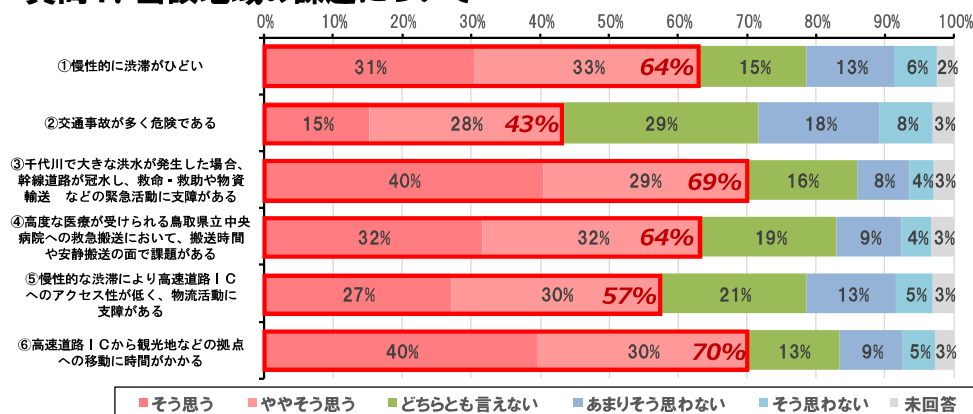


第1回意見聴取にご協力いただき、ありがとうございました。
皆さまにお聴きしたご意見の結果(概要)を以下のとおり、お知らせします。

地域住民の方々や道路を利用される方々から、約10,100件のご回答をいただきました。

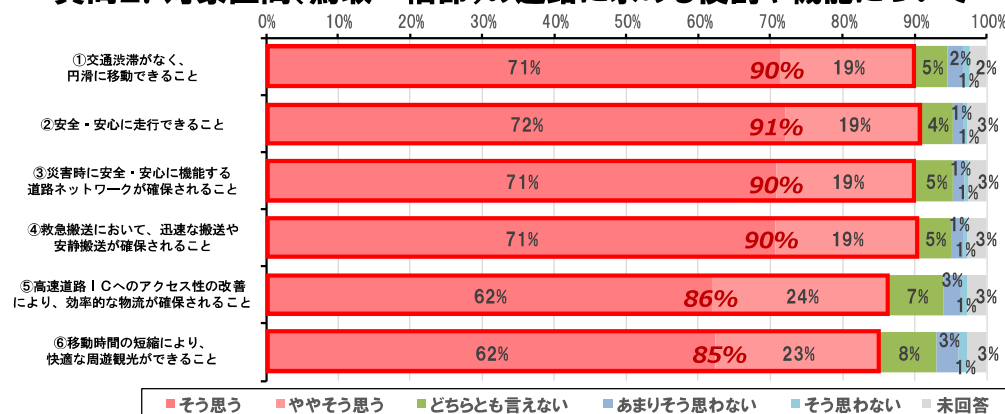
■ アンケート結果

質問1. 当該地域の課題について



「高速道路ICから観光地などの拠点への移動に時間がかかる」、「千代川で大きな洪水が発生した場合、幹線道路が冠水し、救命・救助や物資輸送などの緊急活動に支障がある」といった点に問題があるという声が多い。

質問2. 対象区間(鳥取～福部)の道路に求める役割や機能について



道路に求める機能については、全ての項目において、回答者の8割～9割が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、対象区間(鳥取～福部)には様々な機能が求められている。

◆ 自由意見、懸念・配慮した方がよいと思う事項

交通の課題

- 国道9号南隈交差点、湖山東交差点、国道29号国体道路交差点は、朝夕ピーク時において東西南北全ての方向で渋滞が発生している。(地元企業:渋滞)
- 国道29号が渋滞しているため、生活する上では国道29号以外の道路に迂回している現状で、生活道路にクルマが入り込むため、通学児童などの安全面にも問題がある。(ワークショップ参加者:交通安全)
- 千代川が氾濫した場合は、鳥取市内の幹線道路がほぼ冠水してしまう危険性があり、幹線道路が寸断された場合、救急活動が行えない可能性がある。(消防:防災)
- 鳥取自動車道、鳥取ICから南北の国道29号と東西に走る国道9号は、朝夕の通勤時をはじめ、週末、特に行楽シーズンには、鳥取砂丘や賀露方面に向かう車両で渋滞が発生しており、観光滞在時間が少なく、他の観光地を周遊する機会が無くなること、渋滞を嫌う観光客は鳥取市を素通りしてしまうことが課題と認識している。(自治体:観光)
- 特に朝夕において国道9号線の南隈交差点、鳥取大橋付近の渋滞が発生し、鳥取空港等の重要な拠点へ行くのに時間を要する。(道路利用者アンケート:アクセス)

配慮すべき事項

- 市街地の住宅地に近接するので、排気ガスや騒音のない道路にする必要がある。(住民アンケート:沿道環境)
- 住宅への影響に配慮し、なるべく街中を通さないように。(ワークショップ参加者:移転家屋等)
- 工事期間中、今より渋滞が悪化しないよう、また迂回車両が危険な場所を通らないよう交通誘導に配慮すること。(ワークショップ参加者:工事中的影響)
- 雨、雪等の自然災害への備えはあった方が良く、費用の増大は望ましくないと。良い工夫があればと思います。(住民アンケート:建設費)
- 人口減少社会となるため、将来の維持管理コストが小さくなる様、構造や規格を検討してほしい。(住民アンケート:維持管理)

皆さまからいただいたご意見を踏まえ、 当該地域の将来像を見据えた5つの政策目標を設定しました

産業（商工業/農水産業）

- ・鳥取市千代水地区では、国道29号の慢性的な渋滞により、高速ICへのアクセス性が低く、物流活動への支障となっている
- ・岩美町では、基幹産業の一つである水産業の持続的発展のため、輸送時間短縮による水産物の販路拡大支援が重要

観光

- ・鳥取東部地域では、鳥取砂丘周辺を周遊する観光客が大半を占め、岩美町への周遊は少ない
- ・観光シーズンには、鳥取IC～鳥取砂丘間の所要時間は通常時の3倍に増加
- ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟以降、広域観光促進に向けた取組が実施されているが、地域間をつなぐ高速道路整備は遅れている

安全安心

- ・鳥取市街では、国道29号等を中心に主要渋滞箇所が連続して存在
- ・渋滞箇所では、速度低下を要因とした追突事故が多発
- ・市街地の渋滞により、救急搬送時において定時性や安静搬送の面で課題となっている
- ・千代川の洪水時には、国道29号や53号が冠水し、救命・救助などの緊急活動に支障をきたすことが懸念される

地域の課題



▼鳥取～福部間周辺のネットワーク整備状況と施設配置



政策目標

日常生活の利便性、
安全性の向上

災害時にも機能する
信頼性の高い
ネットワークの確保

救急医療機関への
速達性向上

産業活動の支援

観光振興の促進

鳥取～福部の対策案について、3つのルート帯(案)を検討しています

- 東側区間は、アクセスコントロールされた国道9号鳥取バイパスを活用する。
- 西側区間は、既成市街地への影響を最小限に抑えながら、政策目標の達成を考慮し、以下の対策案を検討する。

【案①】 市街地を回避し、主要拠点へのアクセス性に優れる 全線バイパス案

○ : ルート帯(案) ●●● : 現道活用区間(案)

【案②】 市街地を回避しつつ、整備区間を極力最短で結ぶ 部分バイパス+現道立体化案

○ : ルート帯(案) ●●● : 現道活用区間(案)

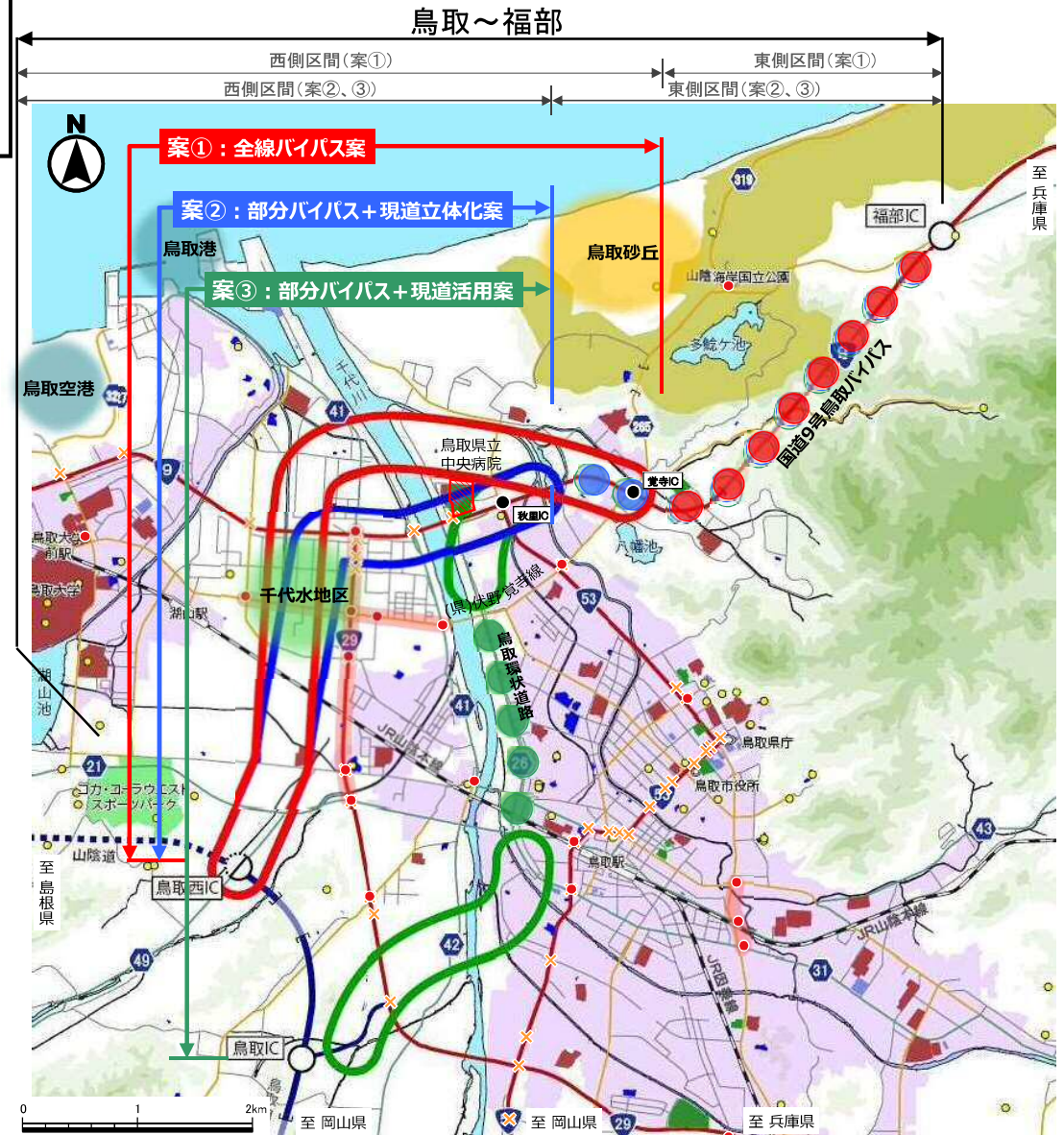
【案③】 走行性の高い既存道路を活用する 部分バイパス+現道活用案

○ : ルート帯(案) ●●● : 現道活用区間(案)

凡例 (交通課題箇所)	
●	主要渋滞箇所
■	主要渋滞区間
×	死傷事故率の高い箇所
凡例	
—	高規格幹線道路
—	直轄国道
—	主要地方道
—	一般県道
—	その他道路
—	鉄道

凡例	
■	役所・支所、官公施設
■	学校
■	医療機関
■	人口集中地区 (H27)
○	遺跡・文化財
■	神社仏閣・宗教関連施設
■	広域防災拠点
■	海岸・公園
■	河川・池
■	物流拠点
■	交通拠点 (空港・港湾)
■	主要観光拠点
■	高次医療施設

※ルート帯(幅500m)に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する



各対策案の特徴

提示した対策案に対して、皆さまが重視される評価のポイントについてご意見いただき、対策案検討の参考にいたします。

対策案の概要		案①	案②	案③
		市街地を回避し、主要拠点を連絡する 全線バイパス案	市街地を回避しつつ、整備区間を極力最短で結ぶ 部分バイパス＋現道立体化案	走行性の高い既存道路を活用する 部分バイパス＋現道活用案
		延長 約 11km（新設 7km、活用区間 4km） 自動車専用道路＋一般道路	延長 約 10km（新設 5km、活用区間 5km） 自動車専用道路＋一般道路	延長 約 12km（新設 4km、活用区間 8km） 自動車専用道路＋一般道路
評価のポイント		■物流拠点（千代水地区）へのアクセス性が向上する。 ■交流拠点（空港・港）や観光拠点、高次医療施設へのアクセス性が向上する。 ■高速道路から中心市街地（鳥取駅周辺）へのアクセス性は変わらない。 ■千代川を渡る経路が増え、ネットワーク機能が向上する。	■物流拠点（千代水地区）へのアクセス性が向上する。 ■観光拠点、高次医療施設へのアクセス性が向上する。 ■高速道路から中心市街地（鳥取駅周辺）へのアクセス性は変わらない。 ■現道の立体化工事にあたっては、交通規制による長期間の交通混雑が考えられる。	■物流拠点（千代水地区）や交流拠点（空港・港）へのアクセス性は変わらない。 ■観光拠点、高次医療施設へのアクセス性が向上する。 ■高速道路から中心市街地（鳥取駅周辺）へのアクセス性が向上する。 ■整備延長が最も短くコスト面に優れるが、一部、人口集中地区を通過することとなる。 ■千代川を渡る経路が増え、ネットワーク機能が向上する。
道路整備による効果・改善点	交通混雑が緩和できること	・新設道路に交通が転換し 混雑が緩和 ・新たに千代川への橋梁整備により 選択可能なルートが増える	・新設道路に交通が転換し 混雑が緩和	・最も渋滞する国道29号の 混雑が残存する ・新たに千代川への橋梁整備により 選択可能なルートが増える
	交通の安全性が向上すること	・混雑が緩和するので 安全性が向上する	・混雑が緩和するので 安全性が向上する が、 国道 9 号立体化区間において 交通処理が必要	・混雑が残存するので 交通事故の減少効果は限定的
	千代川氾濫時等に通行規制が回避できること	・路面冠水による 通行規制を回避できる ・新たに千代川への橋梁整備により 代替路が確保される	・路面冠水による 通行規制を回避できる	・鳥取環状道路区間において 路面冠水のおそれ ・新たに千代川への橋梁整備により 代替路が確保される
	救命救急センターへ早く、確実、安全に搬送できること （鳥取ICから県立中央病院）	・ 速達性・信頼性に優れる （現況に比べ 5 分短縮）	・ 速達性・信頼性に最も優れる （現況に比べ 7 分短縮）	・ 速達性・信頼性に優れる （現況に比べ 5 分短縮）
	高速道路から物流拠点までの時間短縮が図られること （鳥取ICから千代水地区）	・ 速達性・定時性に最も優れる （現況に比べ 7 分短縮）	・ 速達性・定時性に最も優れる （現況に比べ 7 分短縮）	・ 速達性・定時性の向上は見込めない
	水産物の輸送時間の短縮が図られること （岩美町から鳥取IC）	・ 輸送時間が短縮 （現況に比べ 6 分短縮）	・ 輸送時間が最も短縮 （現況に比べ 7 分短縮）	・ 輸送時間が短縮 （現況に比べ 5 分短縮）
	主要観光地（鳥取砂丘）へアクセスしやすいこと （鳥取ICから鳥取砂丘）	・ アクセス性に優れる （現況に比べ 5 分短縮）	・ アクセス性に最も優れる （現況に比べ 6 分短縮）	・ アクセス性に優れる （現況に比べ 5 分短縮）
	交流拠点である鳥取空港・鳥取港を核とした観光周遊性が向上すること	・交通環境の改善により 周遊性が向上する ・鳥取砂丘方面と最短で結ばれ 拠点間の連携が強化される	・交通環境の改善により 周遊性が向上する	・他案に比べ、 周遊性に劣る
配慮すべき点	生活環境（大気質、騒音等）が改善すること	・新設道路沿線：新たな交通により、 生活環境への影響が大きくなる可能性 ・既存道路沿線：交通が転換することで 生活環境への影響は小さくなる可能性	・新設道路沿線：新たな交通により、 生活環境への影響が大きくなる可能性 ・既存道路沿線：交通が転換することで 生活環境への影響は小さくなる可能性 。ただし、現道（国道 9 号）区間では、交通が集中し、 生活環境への影響が大きくなる可能性 。	・新設道路沿線：新たな交通により、 生活環境への影響が大きくなる可能性 ・既存道路沿線：鳥取環状道路沿線の 生活環境への影響が大きくなる可能性
	景観への影響が少ないこと	・ 景観に変化が生じるため影響がある可能性	・ 景観に変化が生じるため影響がある可能性	・ 景観に変化が生じるため影響がある可能性
	人口集中地区を極力さけること	移転家屋数 約 1 1 0 軒	移転家屋数 約 9 0 軒	移転家屋数 約 1 1 0 軒 ※一部、人口集中地区を通過
	工事期間中の渋滞の影響が小さいこと	・工事による 渋滞の悪化は少ない	・立体化工事において 渋滞の悪化が懸念される	・工事による 渋滞の悪化は少ない
	建設に要する費用が安いこと	約 6 0 0 ～ 6 5 0 億円	約 5 0 0 ～ 5 5 0 億円	約 2 8 0 ～ 3 3 0 億円
	維持管理に要する費用が安いこと	・ 維持管理費用は最も増加する	・ 維持管理費用は増加する	・ 維持管理費用は増加するが、他案より安い

【 アンケート質問票 】

（ご回答は、『回答はがき』に記載してください）

質問1 今回、3つのルート帯(案)を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？

以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について、**最大3つ**まで選んでいただき、**番号とその理由や内容**をお書きください。

- ① 渋滞が緩和できること
- ② 交通事故が起きにくいこと
- ③ 自然災害に伴う通行止め発生時に代替路が確保されること
- ④ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ⑤ 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ⑥ 農林水産物の生産拠点などから消費地までの時間を短縮し、市場を拡大すること
- ⑦ 高速ICから主要な観光地へのアクセスを向上させ、広域観光を促進すること
- ⑧ 移動の利便性向上により、周遊性が向上すること
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 景観への影響が少ないこと
- ⑪ 人口集中地区を極力さけること
- ⑫ 工事中の交通渋滞の影響が少ないこと
- ⑬ 道路の建設に要する費用、維持管理に要する費用が安いこと
- ⑭ その他（上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください）

質問2 インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか？ご自由にお書きください。

質問3 道路を整備することによる懸念事項(生活環境、自然環境等)がありましたら、ご自由にお書きください。

■回答方法：『回答はがき』に記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

アンケートは以上です。ありがとうございました。

【 アンケート回答例 】

別紙のアンケート質問票をご覧ください。アンケートにご回答ください。

- ・アンケート質問票に記載している重視すべき項目①～⑭のうち、重視すべきと思う項目を選び（**最大3つまで**）、左枠に“項目の番号”を記入し、右枠に“そう思う理由や内容”についてご記入ください。
- ・自由回答の欄には**あなたのご意見**をご記入ください。

＜回答例＞

(質問1)
アンケート質問票に示している重視すべき項目①～⑭のうち、**特に重視すべきと思われる項目について、最大3つまで選んでいただき、番号とその理由・内容**をお書きください。

特に重視すべき 項目の番号	特に重視すべき理由・内容 (特に意見が無い場合は空欄でも構いません。)
①	①を重視すべき理由は…

★回答欄の左枠に重視すべきと思う“項目の番号”を記入し、右枠に“重視すべきと思う理由やその内容”をご記入ください

★“項目の番号”は、1枠にひとつ記入し、最大で3つまで選んでご記入ください

※必ずしも3つ選ぶ必要はありません

(質問2)
インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきと思いますか？ご自由にお書

例1) OOだから、OOへアクセスしやすいように
工夫が必要

例2) この道路をまちづくりに活かすには、
〇〇〇もあわせて検討することが必要

★インターチェンジなどのアクセス
地点を検討する際に考慮すべきこと、
利用促進に向け道路以外で取り組むべきことなど、ご自由にご記入ください

(質問3)
道路を整備することによる懸念事項(生活環境、自然環境等)がありましたら、ご自由にお書きください。

例) 道路が整備されると、〇〇〇が心配

★生活環境面や自然環境面など、道路整備により生じるとする懸案事項がありましたら、ご自由にご記入ください

※回答はがき（おもて面）もご回答ください。

▶▶【回答はがき（うら面）】▶▶



キリトリ線

(質問1)

アンケート質問票に示している重視すべき項目①～⑭のうち、特に重視すべきと思われる項目について、最大3つまで選んでいただき、番号とその理由・内容をお書きください。

特に重視すべき 項目の番号	特に重視すべき理由・内容 (特に意見が無い場合は空欄でも構いません。)

(質問2)

インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか？ご自由にお書きください。

(質問3)

道路を整備することによる懸念事項(生活環境、自然環境等)
がありましたら、ご自由にお書きください

■**回答方法:**右記の回答はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

※本アンケートでお答えいただいた個人情報、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については、今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。